

ガス湯沸器〈瞬間式〉

セントラルタイプ

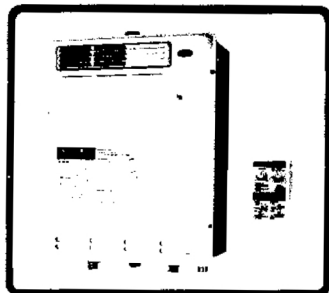
屋外設置型

33-677型

法定型式
S16R5型



大阪ガス



取扱説明書

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管もときどき点検を、よいゴム管をカッチリと…

使用中は熱くなります手をふれないでください。

空だきにはご注意ください

ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

このたびは大阪ガスのガス湯沸器〈瞬間式〉をお求めいただきまことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書と別冊の工事説明書をよくお読みのうえ、別添の保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

	ページ
特に注意していただきたいこと	1~3
各部の名称	4
ご使用方法	5~8
安全装置が作動したときの措置方法	8~9
日常の点検・お手入れ	9~11
故障・異常の見分け方と処置方法	12
仕様	13
長期間使用しない場合	14
アフターサービス	14

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- ガス湯沸器本体正面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。
- 湯沸器銘板に表示してあるガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と湯沸器銘板のガスの種類が一致していることを、必ず確かめてください。ガスの種類が一致していないときは、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス・サービスステーションにご連絡ください。

シヨンにご連絡ください。

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

例 都市ガス用

S16R5型	
設置方式	屋外用
燃焼ガス種	都市ガス
気圧	31.00kPa(29.97inHg)
定格電圧	単相AC100V
定格消費電力	120/100W
定格消費電流	97/80Hz
品番	3-00000
株式会社	日立製作所
凍結防止用ヒータ付動力70W	

例 LPガス用

S16R5型	
設置方式	屋外用
LPガス種	2.5kg/7.7kg
定格電圧	単相AC100V
定格消費電力	120/100W
定格消費電流	98/80Hz
品番	42, 5-00001
株式会社	日立製作所
凍結防止用ヒータ付動力70W	

■使用電源についてのご注意

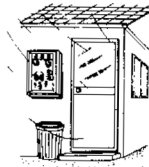
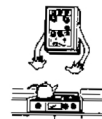
湯沸器銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

■使用場所についてのご注意

1. 屋外専用の湯沸器です。屋内には絶対設置しないでください。排気ガスが充満して危険です。
2. ベランダなどに設置する場合は600mm以上の避難通路を確保してください。(別冊の「工事説明書」を参考にしてください。)
3. 排気トップの上に洗濯物等がかからない所に設置してください。
4. メーンコントローラの設置



- (1) 湯気、湿気のないところに設置してください。湿気はメーンコントローラの寿命を短くします。
- (2) ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所への設置をさけてください。
- (3) 屋外に設置しないでください。



■使用上のご注意

1. ガス漏れ予防

(1)使用中にガスにおいや、不快なおいがかかっているときや、不換においがかかっているとき、必ずガス元を閉めてください。



(2)使用後は必ずメインコントローラの運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。



(3)お出かけやおやすみの際には、ガス元を必ず閉めてください。



2. 火災予防

(1)湯沸器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。



(2)火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

3. 火傷についてのご注意

使用中および消火直後は、湯沸器本体が高温になっていますので、手をふれないでください。



4. 落雷について

落雷のおそれのあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



5. ガス事故防止

(1)ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元を閉じ、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。



(2)万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等)しないでください。



6. 凍結についてのご注意

冬期湯沸器内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による湯沸器の破損を防止する処置を必ず行なってください。詳しくは10ページ「冬期の凍結による湯沸器の破損防止について」の項をお読みください。

7. 燃焼ランプが点滅したとき

メインコントローラの燃焼ランプが点滅したときは、給湯せんを閉めメインコントローラの運転スイッチを切ってください。ガス元せんが開いているのを確認して、再度メインコントローラの運転スイッチを入れ給湯せんを開いてください。(それでも燃焼ランプが点滅したときは12ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をお読みください。)

8. 異常時の処置

万一異常燃焼したときや、緊急の場合、あわてずメインコントローラの運転スイッチを切り、ガス元を閉じて消火してください。



9. 飲料用、調理用としてお使いのとき

湯沸器内に長時間たまった水は、飲料用又は調理用に用いないでください。

10. 水圧が下がったとき

この湯沸器は、0.3kg/cm以上の水圧が必要です。使用中でも水圧が0.3kg/cm以下に下がると、メインバーナーは消火しますが故障ではありません。(給水元せんは全開にしてお使いください。)

(注) より快速にご使用になるには1kg/cm以上の水圧が望ましいです。

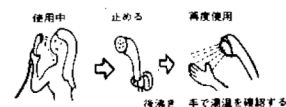
11. 給湯せんの同時使用について

(1)給湯せんを同時使用しますと、湯量が多くなりすぎて、湯温のコントロールが難しくなることがあります。特に高温のお湯をお使いになっているときは、同時使用はさけてください。

(2)シャワー使用中は、できるだけ同時使用をさけてください。

12. シャワー使用時のご注意

シャワーをお使いになってお湯を止められた直後、再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかかず、手で湯温を確認してからお使いください。湯沸器の後沸きにより一瞬熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。



■日常の点検・お手入れ

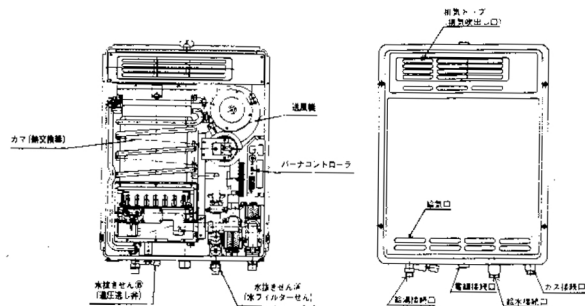
1. 日常の点検、お手入れは必ず行なってください。●詳しくは9ページをお読みください。
2. 故障又は、破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■器具の設置について

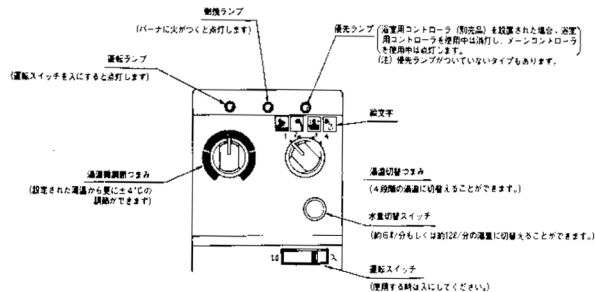
1. 湯沸器の設置はお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
2. 正しく設置されているか確認してください。(別冊の「工事説明書」を参考にしてください。)

各部の名称

■外観・構造



■メインコントローラ



ご使用方法

■点火前の準備と確認

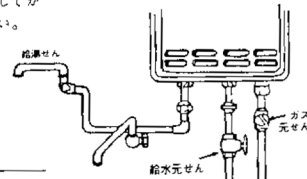
1. 給水元せんを全開にし
てください。
2. 給湯せんを開き、水
出ることを確認してか
ら開めてください。



器具の下部



お湯の使用場所



3. ガス元せんを全開にし
てください。
4. 電源を入れてください。



器具の下部

■点 火

1. メインコントローラの運転スイッチを入にしてください。
●運転ランプが点灯するのを確かめてください。



運転スイッチ



運転ランプ

優先ランプについてのご注意

- 切替ランプは別売のシャワーコントロールの切替スイッチ操作により点・消灯します。これは湯温調節機能の切替表示用です。別売のシャワーコントロールを取付けられていない場合は、優先ランプが点灯します。 ※優先ランプのついていないタイプもあります。

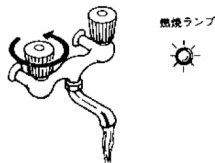
ご使用方法

■給湯

1. 給湯せんを開けますと自動的にメインバーナーに着火し、燃焼ランプが点灯してお湯が出ます。
2. 約10秒待っても着火しなかったときは燃焼ランプが点滅しますので、給湯せんを閉めてメインコントローラの運転スイッチを切り再度運転スイッチを入れてください。
長期不在のあとや朝一番など、ガス配管中に空気が残っていて、一回で着火しない場合や、万一途中でバーナーの炎が消えた場合燃焼ランプが点滅します。上記と同様の操作をしてください。

(ご注意)

- 使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでお湯はできません。
- 今回給湯せんの開・閉操作を行っても燃焼ランプが点灯しなく給湯せんからお湯が出てこない場合は、ガス元せんの開き忘れなど確認の上、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。



■水量切替操作

1. この湯沸器には水量を約6ℓ/分と約12ℓ/分に切替えられる機能があります。
 2. メインコントローラに設けられた水量切替スイッチを押すと約6ℓ/分、更にスイッチを押しますとスイッチが上にあがり約12ℓ/分になります。
- メインバーナーに火がついていない時は切替装置が働きます。その為設定を12ℓ/分にしているも火がつくまでの2～3秒間は約6ℓ/分の流量です。(途中で流量が変化する様に感じられるかもしれませんが故障ではありません。)
 - 又湯沸器を運転しないで洗濯等のため水だけを使用される時は約6ℓ/分しかでませんのでご注意ください。

水量切替スイッチ



水量切替スイッチ



押すとスイッチの中が赤く変わります。

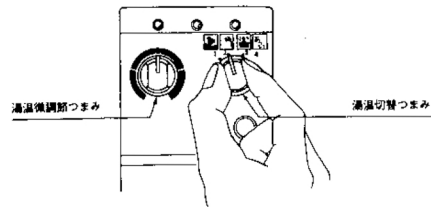


更に押すとスイッチが上にあがります。



ご使用方法

■湯温、湯量調節



1. 湯温と絵文字の関係は下表のようになってます。お使いの時は湯温切替つまみをお使いになりたい湯温の絵文字にセットしてください。

絵文字	湯温(℃)	用途	絵文字	湯温(℃)	用途
1	約 35	洗濯など雑用	3	約 48	風呂の浴槽用
2	約 42	シャワー用	4	約 76	風呂の湯用

[注] この湯温は湯温微調節つまみ中央のときの目安の温度です。
ガス種および季節により多少変化することがあります。

2. 湯温切替つまみでセットされた湯温をさらに微調節されるときは、湯温微調節つまみで行なって下さい。

右に回すと……**高温に** 約±4℃の微調節ができます。
左に回すと……**低温に**

(配管が長い場合は、調節したお湯の流れてくるのが遅れますのでご注意ください。)

3. ご使用になる湯温にセットされたあとは、給湯せんを開けて湯を出してください。
4. 湯量の調節は水量切替スイッチの操作で行うと便利です。
もちろん水道を使用される要領で給湯せんを絞っても湯量は変えられます。この時約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっていきますのでご注意ください。

■注意

- 給湯せんで湯量を調節しますと水の中の空気が分離して、気ほうとなり湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配ありません。
- 季節による水温の変化、湯量によって湯温コントロールからはずれる範囲があります。
夏期、水温が30℃近くなりますと湯温切替つまみを「1」に湯温微調節つまみを「低」にセットしても湯量が少い場合、湯温が高くなります。このような場合は水量切替で12ℓ/分にセットし給湯せんを全開で使用してください。
また逆に冬期では「4」の位置にしても高温が得られない場合があります。このような場合は、水量切替で6ℓ/分にセットしてお使いください。

ご使用方法

■消火

1. 給湯せんをしめすと、お湯が止まり、メインバーナーの炎が消えます。つぎにお使いになるときは、給湯せんを開くだけでメインバーナーに着火してお湯が出てきます。
2. 湯沸器をご使用にならない時は、メインコントローラの運転スイッチを切っておいてください。



■シャワーコントローラについて

別売品として浴室で操作できるシャワーコントローラを用意しております。設置していただくと非常に便利です。

■停電後の使用方法

- 停電時は給湯せんを開めて、運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは5ページの「点火」に従って操作してください。(給湯せんを開めおすれたり、運転スイッチを切りおすれても再通電すれば自動的に再運転します。)

安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

ご使用中に自動的に燃焼ランプが点滅したときは何らかの異常ですので、次の方法並びに10ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

■バーナ安全装置

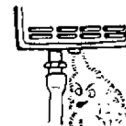
万一使用中にバーナの炎が消えても生ガスが出ない様安全装置が働いて自動的にガスが止まります。この時燃焼ランプが点滅しますので気づいた時はメインコントローラの運転スイッチを切り給湯せんを開めてください。再使用する時は5ページの点火に従って操作してください。

安全装置が作動したときの処置方法

■空だき時の安全装置(ハイリミットスイッチ)

熱交換器の異常な温度上昇をキャッチしてガスの通路を遮断し、火を消します。

ハイリミットスイッチがはたらいたときは、燃焼ランプが点滅しますので、メインコントローラの運転スイッチを切ってからガス元せんを閉じて、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。



注) ハイリミットスイッチが作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、湯沸器の損傷を防ぐため安全装置(過圧逃し弁)から圧力を逃します。高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

■過熱焼損防止用の安全装置(温度ヒューズ)

ご使用中、湯沸器内の温度が異常に高くなったとき、過熱防止温度ヒューズが溶けガスの通路を遮断し、火を消します。

過熱防止装置がはたらいたときは、燃焼ランプが点滅しますので、メインコントローラの運転スイッチを切ってから、ガス元せんを閉じお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

日常の点検・お手入れ

■点検・お手入れの際のご注意

湯沸器を安全・快適にお使いいただくために、日頃の点検・お手入れを習慣づけるようにしてください。

- (1)お手入れの前には必ずガス元せんを開め、メインコントローラの運転スイッチを切り電源プラグを抜いてください。
- (2)安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

■点検

1. 湯沸器の点検

- (1)湯沸器のまわりに燃えやすいものは置かないでください。
- (2)湯沸器の上に、ものを置いて、排気口及び給気口をふさがないようにしてください。
- (3)メインバーナーに着火するとき、大きな音がしたり、使用中にゴーゴー音がするときは給湯せんまたはシャワーせんを開め、しばらく待って再び使用してください。
このようなことが時々起こる場合は、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

■お手入れ

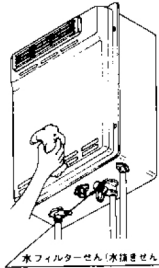
1. 器具外装のお手入れ

汚れは布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとってください。

注）洗剤はのこらないようにふきとってください。

2. 水フィルターの掃除

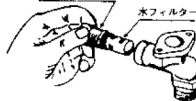
水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。その場合は給水元せんを閉め、水フィルターせんを左に回して水フィルターを引き出して掃除してください。



水フィルターせん（水抜きせんA）

3. シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、メンバーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外して掃除してください。



散水キャップ
ドライバー

■冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬の厳寒期には湯沸器や給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。そこで、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするなどの凍結防止処置をしてください。

1. 低温作動ヒータ

- この湯沸器には、万一上記の凍結防止処置を忘れた場合や、急な冷え込みの時のために、低温作動ヒータを組込んでいます。外気温度が低下すると自動的に湯沸器内を保温します。
- これは、凍結予防のためのもので、外気温が極端に低くなるような場合は、効果がありません。必ず上記の2.または3.の処置をしてください。

注）湯沸器の中の水を抜く場合以外は、絶対に電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜きますと低温作動ヒータが作動しません。

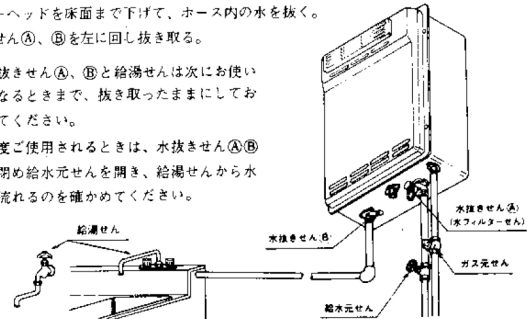
2. 湯沸器内の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合、外気温度が-5℃以下になるような場合）
 [集合住宅に設置された器具の水を抜く場合は、水がこぼれると電気メータの漏電、] 床面の凍結等で危険ですので、容器に受けて抜いてください。
 （約600ccの水が器具にたまっています。）

注）この方法は給水配管部分の凍結防止はできません。
 次の手順で湯沸器内の水を抜いてください。

- (1)メーンコントローラの運転スイッチを切り運転ランプの消灯を確認する。
- (2)給水元せんとガス元せんをしっかり開める。
- (3)すべての給湯せんを開く。
- (4)シャワーヘッドを床面まで下げて、ホース内の水を抜く。
- (5)水抜きせんA、Bを左に回し抜き取る。

注）水抜きせんA、Bと給湯せんは次にお使いになるときまで、抜き取ったままにしておいてください。

注）再度ご使用されるときは、水抜きせんA、Bを開め給水元せんを開き、給湯せんから水が流れるのを確かめてください。



3. 給湯せんからの水を流し放しにする方法（一般的な凍結防止方法）

「この場合は湯沸器本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます。」
 ガス元せんを閉じ、メーンコントローラの運転スイッチを切り、湯沸器に火がつかないようにしてから、給湯せんより少量の水（1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)、ただし寒さにより、流量が異なりますので特に寒い日は多目に）を流し放しにしておいてください。また、流量が不安定な事がありますので、念のため30分くらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴そうに流し込まれますと、一晩で浴そう半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。

■凍結したとき

- (1)湯沸器や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有償)
- (2)凍結したままでは絶対に使用しないでください。凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

【ご注意】

集合住宅などで、床面に防水処理がされていない場合は、凍結による破損で水が階下まで流れ落ちることがありますので十分にご注意ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

仕 様

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

■故障、異常の見分け方と処置について (○=主要原因 △=原因)		内線・外線 工事業者 お客様センター	
現象	処置方法		
ガス元せんの開き不十分。	△△○	○	運転スイッチを切ってからガス元せんを全開にする。
ガスが臭い。(LPガス用冬期方式の発生量が少ない。)	△△	△	LPガスボンベ残量・LPガス販売店。
配管内に空気が残っている。	△△	○	ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用。
ガス圧が適切でない	低い 高い	△△	他の器具も同様の場合は点検依頼する。 (他に原因がないとき)
給水元せんの開き不十分。	△△	○	給湯せんを一たん閉してから給水せんを全開にする。
水圧が適切でない。	低い 高い	△△	点検又は点検依頼する。 (他に原因がないとき)
水フィルターのつまり。	△△	△△	つまり除去又は点検を依頼する。
断水している。	○	○	使用を一たん中止する。
凍結している。	○	○	解冻するまで使用を中止する。
メインバーナー炎孔づまり、給気口づまり。	△△	△△	点検を依頼する。
熱交換器の目づまり。	△△	○△	点検を依頼する。
湯温調節が適切でない。	○	○	「使用方法(湯温・湯温調節)」参照。
給湯せんの開き不足。	△○	○	給湯せんを全開にする。
ノズルづまり。	△	△	点検を依頼する(他に原因がないとき)
安全装置が作動。	○	○	点検を依頼する(度々作動する場合)
水ガバナリー、水流スイッチの故障。	△	△△○	点検を依頼する。 (他に原因がないとき)
電気部品品の故障。	○	△△	点検を依頼する。

器 種 名	ガス湯沸器(屋外設置型)			
形 式 の 呼 び	S16R5型			
種 類	給(湯)出方式	先止め式		
	給排気方式	強制通気式		
点 火 方 式	連続スパーク点火・ダイレクト着火			
作 動 水 量	3.2ℓ/min			
外 形 寸 法	高さ615mm×幅480mm×奥行256mm			
重 量 (本 体)	約27kg			
接 続	給 水	20A (P T 2B) オスネジ	ガ ス	20A (P T 2B) オスネジ
	給 湯	20A (P T 2B) オスネジ	電 気	φ32(電線管ネジC31) オスネジ
電 気 関 係	電 源	単相 AC100V 50/60Hz		
	消 費 電 力	給湯使用時128/108W(50/60Hz) 低温作動ヒーター70/70W(50/60Hz)		
安 全 装 置	バーナー安全装置(フレームロッド方式) 風圧スイッチ、水流スイッチ、ハイリミットスイッチ、ハイカットサーモ 過圧防止弁、過熱防止温度ヒューズ、燧点火装置、排気漏れ検知サーモ 凍結防止装置(水抜きせん、低温作動ヒータ)			
付 属 品	工事説明書参照			
別 売 部 品	●シャワーコントローラ ●据置台(転倒防止金具付) ●防熱板			

使用ガスグループ	1時間当りの ガス消費量 Kcal/h		出 湯 能 力 ℓ/min (ガス消費量最大時)		ガ ス 接 続
	最 大	最 小	上 昇 温 度		
			25°C	40°C	
都 市 ガ ス	6 A	30,000	6,500	(16.2)	10.1
	6 C	31,000	6,500	(16.7)	10.5
	13 A	31,000	6,500	(16.7)	10.5
L P ガ ス		2,50kg/h (30,000)	0,54kg/h (6,500)	(16.2)	10.1

備考 ●出湯能力は給水圧力1kg/cm²のとき。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●上表の出湯能力()は、湯水混合水せんで混合した時で、器具からの出湯量は約12~13ℓ/minに設定しています。

長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない場合はガス元せんを閉じ湯沸器内の水抜きを行なってください。水抜き方法については10～11ページの「冬の凍結による湯沸器の破損防止について」の項をお読みください。

アフターサービス(維持管理について)

■サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 12ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検していただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。
- ご連絡いただくときは、器具の正面左側に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

(例)

(4)33-677(U)

大阪ガス株式会社

(N)33-677(U)

大阪ガス株式会社

別添の保証書は大切に保存してください。

■転居される場合

ガスには15の種類があります。ご転居などにより、ガスの種類が変わるときは、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありましても有償です。

■定期点検のすすめ

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して末永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。

一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。

お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社

◎上手に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。

◎この製品を設置する場合は、設置基準に従って設置してください。

■おねがい

ガスクイとききは、ガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

当社支社の住所・電話番号は裏面に掲載しております。

本社・支社所在地および電話番号表

本社(サービスセンター)	大阪市東区平野町5-1	電話大阪06	(202) 2221	F541
南支社	大阪府高槻区五出東2-9-41	電話大阪06	(882) 0001	F557
北支社	大阪府流川郡十三町3-6-35	電話大阪06	(901) 1261	F532
堺支社	堺市住吉南町2-2-19	電話堺	0722 (88) 1131	F590
本願支社	高槻市御所の里2-6	電話高槻	0726 (71) 0361	F569
新神支社	西宮市都土町4-11	電話西宮	0798 (26) 3101	F662
東部支社	京大阪府舞臺2-3-37	電話河内	0729 (62) 1131	F578
東部支社	吹田市西田宮町16-17	電話吹方	0720 (41) 1251	F573
神戸支社	神戸市中央区新街町5-13-10	電話神戸	078 (578) 5231	F650
東部支社	京都府中川区高丸町海地町3-6-8	電話京都	073 (231) 8151	F604
東部支社	高槻市李墓北2-4-1	電話高槻	0743 (44) 1111	F631
和歌山支社	和歌山市中町1-1	電話和歌山	0734 (31) 2491	F640
新潟支社	新潟市神保町4-1	電話新潟	0752 (88) 2221	F670
廣瀬支社	加古川市加古川町藤原29-1	電話加古川	0794 (21) 1801	F675
廣瀬支社	豊岡市三坂町6-1	電話豊岡	07962 (3) 2221	F668
福寿支社	京都市東山町宇賀町6-8-0	電話京都	0773 (20) 6511	F525
岩田支社	岩田町本町2-1	電話岩田	0749 (22) 9131	F522
福生支社	福生町東町3-4	電話福生	07446 (21) 1711	F528

○の電話はサービスセンターおよびサービスショップ

- ガス器具をご使用のときは、慎重にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具コックだけではなく、燃焼先のもとコックも必ず閉めましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製マーク入りのもので、そしてコックについている赤線のところまで深く押しこみ、必ずゴム管止めでもめつけましょう。
- お使いにならない燃焼先のもとコックにはゴムキャップをかませておきましょう。

大阪ガス株式会社